

## 申10号 「新たなジョブローテーション」の運用 に関する申し入れ 団体交渉を行う①

### 第1項 新たなジョブローテーションにおける異動のタイミングについて考えを明らかにすること。

#### 【会社主張】

- ・一概に同一箇所・同一担務が長い人から順に異動・担務変更していくということではない。
- ・自己申告書や面談の内容を参考にした上で、保有車種やこまちの乗務など総合的な判断と需給状況を見ていく。10年を超えている方については順次、異動や担務変更となる。
- ・4月1日以降、順次施策を進めていく。
- ・乗務員基地再編に伴い、教育訓練が発生している職場もあるので各職場の状況を見ながら判断し進めていく。
- ・異動に向けてはこれまで通り、社員と意見交換し細かく把握していく。
- ・施策を通じて多様な経験をすることで安全レベル、サービスレベルを向上させていく。
- ・各職場に蓄積されている独自の知識や技術を踏襲していけるように判断し進めていく。

### 第2項 駅業務委託や乗務員基地再編により職場が減少している中で、新たなジョブローテーションの運用における考えを示すこと。

- ・「夢や希望、安全安定輸送の確保」「職場に必要な社員の配置」の観点を考慮して運用していく。
- ・水平分業の観点から、今後も仕事の見直しを進めていく。
- ・職場数が減少し、選択肢が少なくなっている現実はある。必要な業務をどのように担っていくかを考えていく。
- ・選択肢の中には出向もあり、他の会社の雰囲気を感じることも大事である。
- ・個別の事情もあると思うので丁寧に進めていく考えである。
- ・異動先は駅と各運輸区。担務としては、営業は「出改札」「サービスマネージャー」、運輸区は「運転士」「車掌」「指導担当」「輸送」となる。
- ・今後本体として運営していく駅は、地区駅と常時運転取扱い駅となる。

### 第3項 新たなジョブローテーションを運用する上で、車種転換や車掌のこまち乗務をどのように進めていくか具体的にすること。

- ・全体的に必要な車種と車種保有者数をみて教育をしていく。
- ・DC転換の規模は縮小するが、必要な人数を見極めながら行っていく。
- ・DLは2024年に置き換え計画があり積極的に行うとはならない。計画の見直しや不測の事態があればDL転換をやることはある。
- ・こまちの車掌の養成はやっていく。教育期間も職場と意見交換し短くしてきた。次年度は養成人数を増やしていく考えである。
- ・異動が発生することで、職場要員が回らない状況にしないように運用していく。